河津町　町制施行60周年　60th Anniversary

広報かわづ

August 8
2018年 No.552

地元の伝統行事

（7月7日　見高浜地区　見高神社祭典）

マチイロで
広報かわづ配信中！

投票日
9月30日(日)
午前7時～午後6時

河津町議会議員選挙

任期満了に伴う河津町議会議員選挙（定数11人）が9月30日に行われます。町議会議員選挙は町の将来を担う大切な選挙です。大切な一票を無駄にせず、積極的に投票に出かけましょう。

投票・開票

■投票
9月30日（日）
午前7時から午後6時まで
町内の指定投票所11カ所

■開票
9月30日（日）
午後7時30分から
役場2階　議場

※参観人については、会場の都合で入場を制限しますので、ご協力をお願いします。

投票できる人（選挙権がある人）

選挙人名簿に登録された
◎日本国民で、河津町に引き続き3カ月以上住所を有する人（平成30年6月24日以前から河津町内に住所がある人）
◎選挙期日現在、満年齢が18歳以上の人（平成12年10月1日以前に生まれた人）

立候補できる人（被選挙権がある人）

今回の選挙に立候補できる人は、選挙権があり、選挙期日現在、満年齢が25歳以上の人（平成5年10月1日までに生まれた人）

立候補予定の人

■立候補予定者説明会
8月23日（木）
午後1時30分から
役場2階　第2会議室

不在者投票

選挙人名簿に登録されている人で、指定病院や老人ホームなどに入院・入所中の人は、その病院や施設内で不在者投票ができます。

問　選挙管理委員会事務局
☎（34）1957

選挙告示は9月25日(火)！

期日前投票は9月26日（水）から

投票日当日に、仕事や旅行などで投票できない人は、投票日前日までに期日前投票をすることができます。投票所入場券を持参して会場へお越しください。
■期間　9月26日（水）～9月29日（土）
■時間　午前8時30分～午後8時
■会場　保健福祉センター　1階
ボランティア団体室

第26代 ミス伊豆の踊り子 オーディション 出場者募集!

平成30年11月から平成32年10月までの2年間、河津町のイベントやキャンペーンなどをお手伝いしてもらう「ミス伊豆の踊り子」を募集します。

■応募資格
①18歳から25歳までの日本国籍を持つ独身女性。（平成5年4月2日から平成12年4月1日生まれの人）高校生不可
②静岡県・神奈川県・東京都・埼玉県・千葉県・愛知県に在住の人　③桃割れを結うことができる人（前髪約20㎝以上、横髪・後髪約30㎝以上）④町のイベントや観光宣伝事業などに参加し協力できる人（年10回程度）⑤契約モデルや活動中のミスコン入賞者、イベント・キャンペーンガールなどでなく、平成32年10月まで他の事務所と契約せず伊豆の踊り子として活動可能な人

■応募期間
平成30年9月28日（金）まで

■審査
第1次審査　書類審査
第2次審査　面接審査
◎2次審査は10月28日（日）の河津ふれあいまつり内で実施

■賞金
「ミス伊豆の踊り子」（1人）
賞金10万円＋宿泊券
「伊豆の踊り子」（2人）
賞金5万円

■応募方法
申込書に必要事項を記入のうえ、写真と身分証のコピーを合わせて郵送またはメールにて役場産業振興課内「ミス伊豆の踊り子オーディション係」まで提出してください。詳しくは役場または河津町観光協会ホームページをご確認ください。

問　産業振興課
☎（34）1946

▲第25代ミス伊豆の踊り子

後期高齢者医療制度に加入している皆さんへ

年に一度の「健診」を受けましょう

後期高齢者医療保険加入者を対象に健診を行います。
年に一度の健診は、ご自身の健康状態を把握する機会です。元気で長生きするために、健診を受診しましょう。

■対象
後期高齢者医療保険加入者（健診日に75歳以上の人）
※40歳以上の国民健康保険加入者で、今年度未受診の人も受診できます。

■場所
保健福祉センター

■内容
問診・身体測定・血圧測定・尿検査・診察・血液検査・大腸がん・肺がん検診（希望者）

■費用
500円

■送迎バス
9月19日、21日、10月5日、6日の各地区に該当する人は、保健福祉センターまで送迎バスを運行します。詳しくは郵送される通知をご確認ください。

実施		対象地区・受付時間	
		13時～	14時～
9月	18日（火）	浜	縄地
	19日（水）	下峰	梨本・泉奥原・川横・大鍋
	20日（木）	笹原	田中
	21日（金）	沢田・逆川・上峰	小鍋・湯ヶ野・下佐ヶ野
10月	5日（金）	見高浜	長野・見高入谷
	6日（土）	谷津	上佐ヶ野・天川・筏場・大堰

※対象の地区以外の日に受診することもできます。

保険料は8月中にお知らせします

1 新たな保険料は8月中にお知らせ

平成30年度の保険料は、平成29年中の所得に基づき算出します。平成30年8月中に決定し、加入者（被保険者）へお知らせします。

2 納付は忘れずに

納めていただいた保険料は病院や薬局へ支払われる医療費に充てられます。安定した医療制度を維持していくために必要な財源です。納め忘れのないようお願いします。

○保険料の納付方法

【特別徴収】（原則、特別徴収）
年金からの差し引き。対象は、年金額が年額18万円以上の人。

【普通徴収】
納付書や口座振替など。対象は、年金額が年額18万円未満の人や介護保険料と合わせた額が年金額の2分の1を超える人。

※特別徴収に該当する人も、申請すれば口座振替に変更できます。

3 保険料の軽減措置

後期高齢者医療の保険料は、加入者全員が負担する「均等割額」と、前年の所得に応じて負担する「所得割額」の合計額で個人ごとに計算します。

○保険料の軽減措置
均等割額は世帯内の被保険者と世帯主の所得水準に、所得割額は個人の所得水準によって軽減の割合が決まります。

【被扶養者】
後期高齢者医療制度に加入する前日まで会社の健康保険などの被扶養者だった人は、均等割額が5割軽減され、所得割額はかかりません。

【均等割額】
世帯内の被保険者と世帯主の総所得金額の合計に合わせて均等割額が軽減されます。
平成30年度から、低所得者に対する均等割保険料軽減措置の対象が拡大され、軽減判定所得率が引き上げられました。

【問い合わせ】
健康福祉課　保険年金係
☎（34）1937

均等割額の軽減

世帯内の被保険者と世帯主の総所得金額の合計		軽減の割合
33万円以下の場合	世帯内の被保険者全員が年金収入80万円以下で、その他所得がないとき	9割
	上記以外のとき	8割
33万円＋（27.5万円　×　世帯の被保険者数）以下のとき		5割
33万円＋（50万円　×　世帯の被保険者数）以下のとき		2割

平成30年度町政地区懇談会
河津の将来を語ろう～新たな町づくりと今年の仕事～

皆さんの声をこれからの町づくりに

5月10日から6月18日にかけて、町民参加の町づくりを目指して平成30年度町政地区懇談会を開催しました。355人が参加した懇談会で寄せられた主な質問やご意見の一部を紹介します。詳細は町のホームページで公表しています。

防災について

Q　防災訓練は突発型と予知型とがあるが、今、町ではどちらを行っていますか？

A　突発型を想定して訓練を行っています。ここ何年か固定化しているとの意見を受け、現在、訓練方法について検討を始めています。

Q　「この地区ではどういう災害が起こるか」ということを先に説明し、頭に入れて訓練してもらうことが効果的ではないでしょうか？

A　身近なものとして防災マップがあります。災害を身近なものと捉え、「どのように逃げたらいいか」「避難地が遠い場合は最低でも自分の命は自分で守る」など、常に周りの状況を見極めて対処していくのが災害にあわない一番の予防なので、訓練でも訴えていきたいと考えています。

Q　津波はどれくらいの確率でくるのか、起きた時どうするのですか？

A　津波について心配されている東南海地震は、30年以内に70～80％の確立で起こると予想されています。

平成27年12月、浜・谷津・笹原の3地区で、津波対策地区協議会を設立し、会議の中で津波対策の方向性を決めています。

今後の対策については、「防ぐ対策」と「逃げる対策」の両方で進めていきます。経過については区長さんを通じて情報共有をしていきます。

Q　防災行政無線のデジタル化、重要なことが聞こえなかったりするので、今後解消してほしいです。

A　デジタル化は今年度、統制台の設置を行い数年かけて整備していく予定です。各地区の電波状況の確認をして、難聴対策をしていきます。100％改善ができるかは町の地形の問題もあり難しいですが、できるだけ整備をするように努めます。

▲同報無線

道路について

Q　伊豆縦貫自動車道完成後の構想や考えがありますか？

A　今年度はIC（インターチェンジ）を中心とした今後の地域振興対策を進めていきます。ICで多くの人に降りてもらうような仕組みを作りたいと考えています。

Q　伊豆縦貫道－IC周辺について、具体的にどのような構想がありますか？

A　「河津IC（仮称）」は湯ヶ野から梨本までの今後の活性化対策、「逆川IC（仮称）」は下田市と連携をしながら考えていきます。

Q　田中から笹原までの区間の道路事業を早く進めてほしいです。

A　この道は、現在役場の横までできていますが、そこから観光交流館までができていません。もともと田中地区では、区画整理の中で道路を入れる方針でしたが、現在は、地主さんと直接交渉して道路を造っていく計画です。ここ10年くらい進んでいない状況です。道路用地の問題があり、地主さんの了解がないとできません。もう少し時間をください。

▲懇談会の様子（ふれあいホール）

太陽光発電について

Q　太陽光発電について、条例はありますか？

A　条例については、検討している状況です。現在は指導要綱の中で指導しています。町としては指導要綱の中で、「地元の人の承諾を得るように」としています。事業が始まると法律ではないので、規制が難しいと考えています。今まで以上に監視を強化します。

Q　いろいろな法律などがあると思いますが、人が住み、生活しているということを優先してほしいです。がけ崩れなどの災害が起きたときにどうするのですか？

A　これからはこのような話し合いをしないといけません。再生可能エネルギーは重要だと考えますが、景観、災害の恐れがあるようなものについては慎重に検討すべきだと思っています。今後については要綱や条例を整備していくことが重要です。

皆さんと監視活動、お互いの情報を共有して協力していかなければならないと思います。

教育・子育てについて

Q　学校環境整備検討委員会とは難しい名前でなにのことだかわからないのですが、小学校の統合という意味ですか？

A　環境整備委員会という名前にしたのは、統合ありきという前提で話を進めたくなかったからです。まだ結論は出ていません。来年の3月頃までには答申をもらいたいと思っています。

Q　小学校のあり方検討は、小学校だけの問題なのですか？　小中一貫校の検討をしたらどうでしょうか。昨年の出生数は24人と聞きました。保護者の意見をぜひ聞いてほしいです。

A　静浦（沼津市）の学校は小中一貫教育です。最近では土肥にも一貫校ができました。これからはそのような方向もあるのだと考えます。今後も小学校のあり方について、河津町学校教育環境整備委員会で具体的に考えていきます。

昨年生まれた子どもは24人です。29年度から小学校、幼稚園、保育園で意見を聞き、要望カードというものを出してもらっています。

さまざまな意見を参考にしながら今後について考えたいです。

Q　子育て支援の中に学童保育があります。小学校と学童保育は、ある程度一緒に進んでいかないと、別々の場所になると思います。どう考えているのか教えていただきたいです。

A　子育て支援と学校のあり方検討は大変難しい問題です。放課後児童クラブは、南小学校体育館の2階で行っています。東小と西小の児童は、迎えに行っています。

学校統合については、少し時間がかかるので、できれば先に学童保育などの子育て支援についてを想定しながら検討していきます。場所の選定についても学校の近くが好ましいので、今後の会議で検討していきます。

Q　元複合施設予定地の中学校跡地に、遺跡発掘後の穴が開いたままですが、そのままなのですか？

A　予定については町としての考えを持っていませんが、河津桜まつりで1カ月間使用するだけの駐車場としてではなく、年間12カ月使用できるような利用方法があればと思っています。「わたしの声」などでさまざまな意見が寄せられるので、参考にしながら今後検討していきます。

▲東小学校段間展示室を見学する児童

介護事業について

Q　介護保険料が4900円から6500円になり、1600円上がります。年間で1万9200円です。3年間はこの保険料でやっていくわけですが、今後必ず1万円台になります。これを町としてどう改善していくのですか？

A　介護保険料に関しては、今まで貯めたお金があれば、保険料を上げなくて済んだのですが、需要のバランスが保てなくなり、上げることになりました。介護保険の問題は、介護予防が大事だと思います。これから高齢者が増えていくと思いますが、支える人が少なく、バランスが悪いということが町の大きな問題です。高齢者が増えることによって、介護保険の需要は伸びますが、介護予防を行っていかないと、この問題がどんどんと伸びていってしまうため、重点的にやっていきたいと考えてます。

　また、国民健康保険に加入している人は、特定健診を受診できます。受診率は36％程度しかありません。受診をすれば、皆さんの健康状態もわかり、介護保険料にも影響してくるので、ぜひ特定健診を受診してください。

▲高齢者いきいきセンター（通所型一般介護予防事業）

Q　介護事業の中で500円持っていけば体操教室に参加でき、500円は安いと思っている人がいます。これは、介護保険の経費を使用して行っているものです。わかっていない人がいるので、理解をしてもらえるように説明してもらいたいです。

A　介護事業の体操教室での費用は、全体の費用の半分は国や県、町も負担していて、残りの半分は利用者の費用や介護保険料に含まれています。

　体操教室の対象者は、65歳以上の通所型サービスを利用していない人で、町内に居住している人です。また、自主活動として、町が行っている事業とは別に高齢者いきいきセンターを貸し出しすることもあります。町の事業として行っているものは、65歳以上が対象となっています。

観光・産業について

Q　道路や駐車場事情の改善が必要だと思います。積極的な取り組みをお願いします。

A　桜まつり会場の天城側にも駐車場を求めることによって、お客さんの利便性が少しはよくなるので、今後は新たな駐車場を求めていく必要があります。

Q　踊り子温泉会館の料金は、一般的には高いのではないでしょうか。営業時間を夜10時ごろまでに延ばしてもらえれば、利用しやすくなると思います。

A　温泉会館は開館から25年が経ち、老朽化してきれいな施設も増えたので確かに高いです。今は安くてほしいと話をしています。今後改修してるので、料金や時間を変えることによって、利用者が増える見込みがあるかを見極めないといけないのが町営の施設だと難しいところです。施設の改修も含めて考えなければという状況です。

Q　観光交流館の直売所の出品は農業をしているお年寄りの生きがいになります。交流館は他に比べると売り場も狭く食堂も閉まり、魅力度が低いです。町として利用はどう考えていますか？

A　交流館の売り上げは7000万円程度で、桜まつり期間の売上額が大きいです。観光協会に指定管理としてお願いをしているので、相談をしながら行っていく必要があります。

　交流館は直売所だけでなく総合的な面を持っています。もともと桜まつりの本部としての役割もあるので、直売所という面ではまだまだ狭いのかもしれないです。食堂について今は一時休止中ですが、近々方向性が出ます。町としてはぜひ続けてほしいと話をしています。観光客だけでなく、地元の人の利用も多く、社会的意味もあります。

information

介護の体操教室って？

　介護予防・日常生活支援総合事業のひとつで、通所型一般介護予防事業と言います。生きがいづくりを目指し、65歳以上の人を対象に高齢者いきいきセンターで行っています。

通所型一般介護予防事業

【日時】平日10時～15時　　高齢者いきいきセンター　※送迎あり
【対象】65歳以上のすべての人
【内容】午前：レクリエーション、高齢者同士の交流　午後：体力づくり
【利用料】500円
【体力作りメニュー】

月	火	水	木	金
太極拳コース	介護予防コース	マシンコース	介護予防コース	スクエアステップコース

まちづくりについて

Q　河津バガテル公園の再生とはどういうイメージなのでしょうか。最初のころは入場者数が20万人いたと言っていましたが、また20万人に戻すのですか？　個人的には難しいと思います。

A　バガテル公園の再生については、現状の改善強化と根本的なものの対応の2段階で進めていこうとしています。問題は町の持ち出しが5000万円と多いことです。それを1000万円でも2000万円でも縮めることによって大きな効果があります。全体を見直すためには外部委託したいと考えています。当面の活性化対策は、ショップの運営やイベントを行って誘客していきます。

Q　河津バガテル公園の誘客についてどう考えているのですか？

A　以前、バガテル公園をどうしようかという検討委員会を開いた時に、必要な施設だという結論が出ています。再生計画の中で、民間委託も含めて検討します。直営ではなく、委託できるのがいちばん良いと思います。

Q　バラ園の河津バガテル公園なので、売店を何とかしようという前に、花をまず見せるということをもう一度考えたらいいのではないでしょうか。

A　当然バラに力を入れることが中心だと思っています。その上で、帰りにお茶を飲んだりする状況になればいいと思います。バラの見せ方は、今後どう見せていくのか工夫が必要です。

Q　一定の収入を得られる観光資源を作ったり、移住定住者を増やしたりする計画があれば教えてください。

A　最近では、若い世代が多く移住定住する傾向にあります。伊豆縦貫道ができることによって、通勤圏にもなってきます。

　観光については、桜まつりの時期にお客さんが多い状況です。インバウンドが増えた影響もあり、桜まつりを押し上げているのかなと思います。町全体でお出迎えやおもてなしといった、町民と接する観光も大事だと思います。

▲河津バガテル公園フランス広場

Q　就職先がなければ子どもたちは戻ってこないと思います。

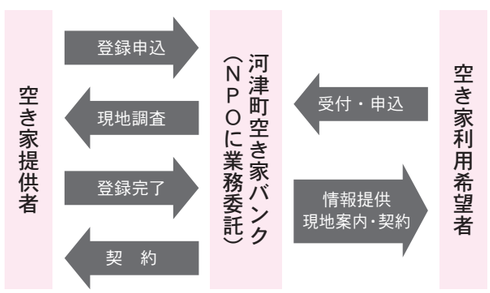
A　河津で子育てをしたいという移住希望者がいるので、仕事を持ってここに住んでもらうことが大事です。そのためには、子育て環境と仕事の問題が大きいと思います。誘致で企業が来ると大きい企業が来なくても、働き世代を増やすことが問題解決への道です。

　今後伊豆縦貫道ができ、通勤や観光、病院へのアクセスなどが変わってくるまで、こらえる準備が必要だと考えています。

Q　空き家対策について教えて欲しいです。田舎住まいをしたいという人が結構いるので、そういう人たちに情報発信をしないと人口減少が改善できないのではないでしょうか。まわりの町とも連携して賀茂地区全体で発信していくといいと思います。

A　空き家対策としては、空き家バンクで登録を申し込んでもらい、外へ発信する形で行っています。町では、上峰の「NPO法人伊豆の田舎暮らし夢支援センター」が窓口になっています。今は空き家バンクに16件（平成30年5月1日現在）の空き家の登録があります。

　最近は、若い人で田舎で子育てをしたいという人もいるので、そのような人たちを取り込めればいいのかなと思います。



information

空き家バンクって？

　町内にある空き家情報を公開し、必要に応じて町が仲介の支援を行い、移住希望者の住宅確保を応援するシステムです。

皆さんからのご意見は、今後の町政の参考にしていきます。多数のご参加ありがとうございました。

問　企画調整課　☎（34）1924

ZOOM IN KAWAZU

まちの出来事

みんなで海岸をきれいに

東小学校　地域美化活動

地域美化活動が７月２日、今井浜海岸で行われ、東小学校の児童や保護者、地域の人など85人が参加しました。

東小学校では、子どもたちの地域の自然を大切にする気持ちを高めるため、毎年夏に今井浜海岸の清掃活動を行っています。児童らは、大人たちと協力しながら流木などのごみを拾い集めました。気温が高く暑い中、一生懸命ごみ拾いをしていました。約１時間の活動で、軽トラック３台分のごみが回収されました。

写真上・参加者と回収されたごみ

写真左・ごみを拾い集める児童たち

河津浜・今井浜で海開き

河津浜・今井浜海水浴場安全祈願祭

町観光協会（山田和子会長）は７月14日、河津浜・今井浜両海水浴場で安全祈願祭を開きました。今井浜では岸重宏町長をはじめ、観光協会、消防関係者ら約30人が出席し、海水浴場の安全と盛況を祈願しました。

山田会長は「安心・安全でみんなの思い出に残る海水浴場にしたい」と述べました。当日は晴天に恵まれ、家族連れなどの海水浴客で朝からにぎわっていました。

今井浜海水浴場で行われた安全祈願祭

しっぽとりでしっぽをつけてもらう園児

お兄さんお姉さん遊ぼ

下田高校　保育体験実習

河津町出身の下田高校１年生が７月６日、さくら幼稚園を訪問し、保育体験実習を行いました。歓迎会が終わると、各教室に分かれて工作などの室内遊びや、遊戯室で「しっぽとり」などをして園児たちとの交流を深めました。

園児たちは積極的に高校生のお兄さんやお姉さんと触れあい、普段はできない交流を楽しんでいました。

Topics

陸上自衛隊に入隊

河津町出身　陸上自衛隊自衛官候補生

稲毛希（いなものぞみ）さん（谷津）と木村功大（きむらこうだい）さん（笹原）は、この春、陸上自衛隊に自衛官候補生として入隊しました。入隊した２人は自衛官の基礎を学ぶ前期教育と専門的分野を学ぶ後期教育を経て、部隊に配属されます。２人の配属予定先は、稲毛さんが第34普通科連隊（板妻）、木村さんが輸送学校（朝霞）です。

なお、河津町では自衛隊伊東地域事務所と連携し、自衛官の募集を随時受け付けています。

陸上自衛隊に入隊した稲毛さん（左）と木村さん（右）

地域の安全を守る

青色防犯パトロール

河津町交番地域安全推進員連絡会は６月13日、長年の地域安全活動が認められ、静岡県防犯協会連合会・静岡県警察本部長から表彰されました。推進員たちは、青色防犯パトロール車による夜間の防犯活動や、振り込め詐欺被害の防止活動など、地域のためにさまざまな活動を行っています。

受賞報告に来た推進員たちに岸重宏町長は、「今後の活動にも期待しています。」と激励しました。

受賞報告を受ける岸町長

伝統の栽培を学ぶ

西小学校　ワサビ定植体験

県賀茂農林事務所は６月５日、大鍋のワサビ田で西小学校の３・４年生20人を対象に、ワサビの定植体験を行いました。児童たちは農家の人たちの指導のもと、一列に並んで結び目のついたロープを目印に、用意された500本のワサビの苗を植えました。

ワサビ田に入ると「冷た〜い！」と言いながら、砂にクワで穴を掘り１本１本丁寧に植えていました。

ワサビを植える児童

交通事故防止のために

夏の交通安全県民運動

夏の交通安全県民運動が７月11日から20日にかけて行われ、西小学校周辺で11日朝、街頭指導・広報活動が行われました。子どもの交通事故防止を目標に、交通安全標語が書かれたのぼり旗を持った町交通安全対策委員18人と町議会議員が通勤途中のドライバーや歩行者に、広報チラシや啓発グッズを配りながら、交通安全に対する注意を呼びかけました。

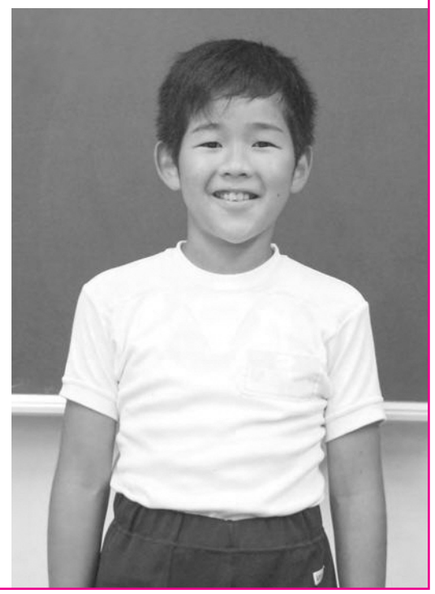
街頭広報を行う委員

電車の模型を操作する翔太さん

MY DREAM 43

夢は電車の運転士

野島　翔太さん
のじま　しょうた
見高浜
東小学校６年



ぼくの将来の夢は、電車の運転士になることです。

ぼくのお父さんは、東京の地下鉄で電車の運転士をしています。会社の見学会があるので、毎年楽しみです。電車の車庫が見学会場で、たくさんの電車がとまっています。見るだけでなく、乗ることもできます。ぼくは実際に運転してみました。

運転席にすわると機械がたくさんあって、難しそうだと思いました。ブレーキをはずしレバーを動かすと、車両がゆっくりと動き出しました。成功したのでほっとしました。ドアの開け閉めや車内放送も体験できてうれしかったです。

お父さんは、朝早くから会社に行き、夜遅くまで残業をしていて、大変です。スピードを出しすぎないことや急ブレーキをかけないことなど、お客さんの安全に気をつかっています。また、時刻表どおりに走るとか、停車位置にぴったりとまるとか、気をつけることが多くて大変だけど、ぼくもできるようになりたいと思います。

ぼくは将来、安全に電車を運転できるようになるために今は、学校の勉強をしっかりやり、電車の仕組みなどを調べてみるなど、自分にできることをやっていきたいと思っています。

世界認定！ 伊豆半島ジオパーク通信

No.2　かわづのジオ

まちのジオ　▲三段滝（上佐ヶ野）

ジオポイントのひとつの三段滝を紹介します！

伊豆半島ジオパークにおけるひとつの見どころをジオポイントと呼んでいます。また、ジオポイントをいくつかまとめたエリアをジオサイトと呼びます。

今回は、河津町のジオポイントの三段滝を紹介します。三段滝は、佐ヶ野川上流火山の溶岩流によって作られた滝です。滝壺が天然のプールのようになっていて、一枚岩を三段に流れるウォータースライダーのようになっています。滝の左側の岩肌が滑らかになっているため滝沿いを歩くことができます。

伊豆元気わくわくの森公園第１駐車場から約２キロ直進すると、右側に三段滝入り口の看板があり、４台ほど駐車できる駐車スペースがあります。

三段滝でコバルトブルーに輝く滝の迫力を味わってみてください。

▲滝沿いを歩くことができます

伊豆半島ジオパークの情報は、公式ウェブサイトのほか、Facebookやtwitter、インスタグラムでも発信されています。

ジオパーク公式ＨＰ

問　産業振興課　☎３４－１９４６
伊豆半島ジオパーク推進協議会
☎０５５８－７２－０５２０

図書館だより

H30.8
No.184

http://www.town.kawazu.shizuoka.jp/library/

【開館時間】
9:00～18:00 土・日は17時まで
【休館日】月曜・祝日・月末日
【問い合わせ】
町立文化の家図書館 ☎34－1115

夏休み中、館内に小学生・中学生の「私の大好きな本を紹介します。」を掲示しています。ぜひご覧ください！

図書館カレンダー　８月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■は休館日です。本の返却は返却ボックスへ。

今月のおはなし会

乳幼児向けの読み聞かせ
はらぺこあおむしの会
0・1・2歳児向け　10時10分～10時30分
2・3歳児向け　10時40分～11時
８月２・９・23・30日（木曜日）
幼児向け　８月はお休み

小学生向けの読み聞かせ
時間（とき）のはこぶね
８月はお休み

お休みのみんなは、「はらぺこあおむしの会」２・３歳児向けにきてね！

※おはなし会は読み聞かせ室で行います。
変更がある場合は、図書館に掲示します。

語りかけから、始めよう。
今月のブックスタート
と　き：８月23日（木）13時～
ところ：保健福祉センターふれあいホール
対象者：平成30年４月生まれの赤ちゃん

かわづっこ子育てねっと主催イベント
絵本作家 広瀬克也さんワークショップ
と　き：８月22日（水）10時30分～
ところ：文化の家 生涯学習室

★夏の図書館日記★

かわづっこ子育てねっと主催イベント

～ 森の写真絵本読み語りと音楽のコラボライブ　-７/１- ～

写真絵本作家　小寺卓也さん　×　馬頭琴・のど歌奏者　嵯峨治彦さん

森の映像上映や絵本の読み語り、馬頭琴と「のど歌」の生演奏を組み合わせたコラボレーションライブが行われました。大型スクリーンに映し出される映像を見ながら、森や自然の話や冬の森で見られる美しい写真に、子どもたちは歓声を上げていました。

～ たなばたお楽しみ会　-７/７- ～

お楽しみ会では、歌を歌ったり、たなばたの絵本を聞いたり、会場は子どもたちの元気な声でいっぱいになりました。小さな笹に思い思いの飾りをつけ、たなばた飾りをつくりました。短冊をつけながら「願いごとが叶うといいね」という声があちこちから聞こえてきました。

河津中学校生徒の職場体験　-７/３･４-

河津中学校２年生２人が職業体験で図書館を訪れました。本の貸出返却業務、書棚への配架作業、書庫の新聞整理、おはなし会での読み聞かせなど、さまざまな業務を行いました。暑い書庫での作業も、一生懸命取り組んでくれました。

館長のつぶやき…

雨にも負ケズ風にも負ケズ活字離れにも負ケズ
アスファルトに咲く花のような丈夫なメンタルを持ち
東に心乾いた人あれば癒しの本を備え
西に泣き叫ぶ子のあれば知らないうちにニコリとなる絵本を届け読み聞かせ
南北に学びを欲する者あればあらゆる資料を懸命に探し続ける
そういうモノに私はなりたい

新着図書案内

ほかにも新着図書があります。
貸出中の場合は予約できます。

書　名（一般書）	著者名	出版社
戦国北条家一族事典	黒田　基樹/著	戎光祥出版
熱海の奇跡	市来　広一郎/著	東洋経済新報社
これからはじめる山歩き	好日山荘おとな女子登山部/監修	ナツメ社
芸は人なり、人生は笑いあり	桂　歌丸/著	ポプラ社
青嵐の坂	葉室　麟/著	KADOKAWA

書　名（児童書）	著者名	出版社
なぜ？の図鑑 科学マジック	藤嶋　昭/監修	学研プラス
スタジオジブリの乗りものがいっぱい	スタジオジブリ/監修 徳間書店児童書編集部/編	徳間書店
おしっこちょっぴりもれたろう	ヨシタケ シンスケ作・絵	PHP研究所
こぶたのブルトン	中川　ひろたか/作 市居　みか/絵	アリス館
ぱくっ！	柏原　晃夫/作・絵	ひかりのくに

こんにちは
保健師です。

●今月のテーマ

地域で認知症を支えよう

健康福祉課　☎34－1937

認知症を理解してもらう講座について以前紹介しました。今回は、認知症を地域で支えるための、新たな取り組みを紹介します。

認知症あんしんマップ

「認知症あんしんマップ」を平成30年3月、全世帯に配布しました。

このマップは、認知症の人の生活機能障害の進行に合わせて、「いつ」「どこで」「どのような医療・介護サービスを受ければよいのか」、河津町に住んでいる人が利用できる具体的な機関名やケア内容などを、あらかじめ認知症の人とその家族に提示できるように1冊の冊子にまとめたものです。

ご覧になった人も多いと思いますが、今すぐには必要でないという人も、地域で支えるために、このマップをご活用ください。

▲認知症あんしんマップ

認知症初期集中支援チーム

在宅で生活している40歳以上で、「認知症疾患の臨床診断を受けていない人」「適切な介護保険サービスに結びついていない人」を対象に、チームの専門職が自宅に訪問しアセスメントや家族支援などの初期支援を集中的（おおむね6カ月）に行います。医療や介護サービスに結びつけて、自立生活のサポートを行います。

利用希望がある人は、包括支援係（34）1938までご連絡ください。

健康福祉課　遠藤　絹代　保健師

保健のお知らせ

■健康相談および母子健康手帳交付

日　時　8月20日（月）、9月3日（月）
13時30分～15時30分
場　所　保健福祉センター
持ち物
・妊娠届出書(病院で配布された場合はご持参ください。)
・個人番号カードまたは通知カード
・身元の確認ができるもの
(写真付きでない場合は2種類ご持参ください)
・印鑑

■育児相談

子育てには悩みがつきもの…、一人で悩まないで相談してください。

日　時　9月4日（火）
10時～11時30分
場　所　保健福祉センター
ふれあいホール
対象者　子育て中の保護者
内　容　身体測定、離乳食や子どもの食事に関する相談、育児相談
持ち物　母子健康手帳

■健診事後教室（要予約）

1歳6カ月から就学前までの子どもと保護者を対象にした教室です。いろいろな遊びを行い、こころと身体の発達を促していきます。参加を希望する人は健康福祉課へ連絡してください。

日　時　8月28日（火）
①未就園児
10時30分～11時45分
②幼稚園年少以上の年齢児
14時30分～16時
場　所　保健福祉センター

子ども医療費助成事業 高校生まで拡大

町では、中学3年生までの子どもが病気やけがなどで医療機関を受診したときの医療費を助成していますが、平成30年10月診療分から、対象者を高校生世代まで拡大します。

問　健康福祉課　☎34－1937

河津町24時間電話健康相談ダイヤル
育児・医療・健康・介護について
専門スタッフが相談に応じます
☎0120－560－655（年中無休）

■子ども医療費助成対象者

拡大前：中学3年生まで
拡大後：高校生世代まで（0歳から18歳到達後の最初の3月31日まで）
（今回の拡大対象者：平成12年4月2日～平成15年4月1日生まれの人）
ただし、次の場合は助成対象外となります。
・対象者が婚姻している。
・対象者が医療保険の被保険者となり自ら医療費を負担している。

■手続方法

新たに対象となる人の保護者あてに、申請書類を9月に発送しますので、健康福祉課窓口で手続きをしてください。

■申請書受付期間　平成30年9月21日（金）まで

※平成30年1月1日に保護者の住所が河津町になかった人は、所得課税証明書や源泉徴収票など平成29年中の所得・扶養親族・課税状況のわかるものを添付してください。

町政 Pick Up

6月→→→7月

ふれあい町長室

開催日　6月25日（月）
参加者　1人
テーマ　「子育てについて」

次回開催日　8月20日（月）
13時30分～15時30分
予約受付期間　8月13日（月）～17日（金）
対　象　河津町民。1人20分程度。
団体での予約はできません。
職員が立ち会います。

問　予約電話　企画調整課　☎34－1924

第一回表彰審査委員会
6月28日@役場第1会議室

「第一回表彰審査委員会」（土屋和衛委員長）が6月28日に開かれました。

町では毎年、町の自治・経済・文化・社会その他各般にわたって町の発展に寄与し、または住民の模範と認められる行為があった人を表彰しています。町民が町の発展に対する意欲の高揚を資することを目的に、委員会は10月の表彰式に向けて、今後話し合いを進めていきます。

今回は、▼委嘱書の交付▼委員会申し合わせ事項▼平成30年度候補者について▼平成30年度表彰式について▼今後の日程についての説明が行われました。

次回の委員会は8月に予定しており、表彰者の確定を行います。

より魅力のある県立稲取高校へ
7月5日@東伊豆町役場

「県立稲取高等学校魅力化推進協議会」（渡邊健司会長）が7月5日、東伊豆町役場で開かれました。

協議会は昨年11月、人口減少や少子化などさまざまな社会変化への対応策のひとつとして、県立稲取高等学校がこれまで以上に魅力ある学校となるよう、地域が一体となった教育の実現と応援体制の充実を目的に立ち上げました。

会議では、東伊豆・河津両町の委員が▼協議会設置目的および第1回協議会の概要▼ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画の概要▼県立稲取高等学校の現状▼魅力化推進のための具体的な取組みについて話し合いました。

▲県立稲取高等学校

都市計画審議会
6月26日@役場第1会議室

「河津町都市計画審議会」が6月26日に開かれ▼委嘱書の交付が行われました。

委員は、稲葉四郎さん、稲葉良明さん、志賀剛さん、鈴木良弘さん、土屋順一さん、正木清司さん、山田勇議員、小林和子議員ら8人で構成されています。任期は平成32年5月31日までです。

河津会の集い
6月15日@東京都港区

「第16回河津会の集い」が6月15日、東京都港区で行われました。集いでは、▼平成29年度活動報告▼活動計画▼会計報告▼落語家の山遊亭くま八さんによる講演などが行われました。

河津会はこの集いで名称を「東京河津桜会」に変更し、河津出身の会員たちは年に一度の集まりを楽しみました。

▲東京で行われた河津町出身者の河津会の集い

暮らしの情報

８月21日(火)は
県民の日！

◆ 今月の納税 ◆

介護保険料３期　後期高齢者医療保険料1期
８月31日（金）が納期です。
問　健康福祉課　☎34－1937

国民健康保険税４期　町県民税２期
８月31日（金）が納期です。
問　町民生活課　☎34－1928

ひとの動き

戸籍だより

（６月１日～30日届出）

※このコーナーに掲載を望まない場合はお申し出ください。

人口と世帯

（７月１日現在）

人　口	7,338 人	前月比（－８）
（男）	3,563 人	
（女）	3,775 人	
世帯数	3,341 世帯	前月比（０）

相　談

身近なこと生活相談へ

日時・場所
９月５日（水）10時～15時
保健福祉センター　ボランティア団体室
問　社会福祉協議会　☎34－1286

日本年金機構出張相談

日時・場所
８月24日（金）　東伊豆町役場（要予約）
９月７日（金）　下田市役所（要予約）
９時30分～11時30分、13時～14時
電話予約をしてください。
問　東伊豆町役場健康づくり課
☎0557－95－6304
下田市役所市民保健課 ☎22－3922

介護の相談窓口

介護でお困りの人、お気軽にご相談ください。
日時・場所
毎月　第１・３土曜日　10時～15時
サンシニア河津　相談室
問　サンシニア河津　☎32－3203

お知らせ

上級救命講習を開催

下田消防本部では応急手当の普及啓発のため、上級救命講習を開催します。希望する人はお申し込みください。
※受講料は無料です。
日　時　９月２日（日）
８時30分～17時30分
場　所　下田消防署　西伊豆消防署
定　員　両会場とも20人（先着順）
受　付　下田消防署および西伊豆消防署
８月18日（土）９時～８月25日（土）
17時15分
詳細は下田地区消防組合ホームページをご覧ください。
問　下田消防署　☎22－1804
西伊豆消防署　☎52－0119

第２回介護教室

河津町食生活推進協議会の皆さんを講師に「みんなで食べられる介護食」について学びます。
日　時　８月22日（水）
10時30分～13時
場　所　保健福祉センター２階
調理実習室
持ち物　エプロン、三角巾、筆記用具
負担金　500円
問　サンシニア河津　☎32－3203

フードドライブにご協力を

県内でも厳しい生活状況の中、職を失くしたなどの理由により、食に困る人が急増しています。多種多様な食品が必要となります。食料を持ち込むという簡単で気軽にできるボランティアです。ご協力をお願いします。
期　間　８月１日（水）～８月31日（金）
方　法　役場保健福祉センターにある食料回収BOXに入れてください。
食　料　①賞味期限が２カ月以上のもの
②賞味期限が明記されているもの
③未開封のもの
④破損で中身が出ていないもの
⑤お米は常識の範囲内で古くないもの（もち米以外）
水や酒類（アルコールの入った飲料・食品）の寄付はお断りしています。
問　NPO法人
フードバンクふじのくに
☎054－248－6177

「子どもの人権110番」強化月間

いじめや体罰、虐待などでお困りの人、気軽にお電話ください。
期　間　８月29日（水）～９月４日（火）
時　間　８時30分～19時
土日は10時～17時
電　話　☎0120－007－110
問　静岡地方法務局　人権擁護課
☎054－254－3555

下田地区消防組合職員募集

下田地区消防組合では、次のとおり職員を募集します。
募集職種　消防職
採用予定　平成31年４月１日
４人程度
受験資格　平成４年４月２日以降に生まれた人で学校教育法による高等学校卒業以上の学歴を有する人
提出書類　受験申込書、卒業証明書など
受付期間　８月13日（月）～９月21日（金）
試　　験　第一次　10月14日（日）
第二次　11月４日（日）
試験場所　下田消防庁舎　３階会議室
問・提出先　下田消防本部
☎22－1829

海で遊ぶ時は気をつけて

マリンレジャーが活発になる７月から８月の時期は、一年を通して最も事故が多い時期です。特に遊泳中の事故が急増しますので、海で安全に楽しく遊ぶために以下のことに注意してください。
・監視、救助体制が整っている海水浴場で泳ぎましょう。
・飲酒のうえでの遊泳は危険ですのでやめましょう。
・海辺に来たときは子どもから目を離さないようにしましょう。
・シュノーケリングは、使用上の注意を確認し、万が一に備え、救命胴衣を着用しましょう。
・悪天候での無理な遊泳はやめましょう。
問　下田海上保安部交通課
☎23－0145

総合消費料金未納はがきは詐欺

民事訴訟管理センターを名乗った『総合消費料金未納分訴訟最終通知書』というはがきが下田警察署管内に多数送られています。
次のようなはがきは詐欺ですので連絡をしないよう気をつけてください。

詐欺はがきの内容

・貴方の未納されました総合消費料金について、契約会社および運営会社から訴状申し入れされたことを本状にて報告いたします。
・裁判取り下げ最終期日までに連絡がない場合、管轄裁判所から呼び出状が発行され、記載期日に裁判所へ出廷となります。
・あなたの給料、財産の差し押さえなどの恐れがございますので十分ご注意ください。
・民事訴訟および裁判取り下げなどのご相談を承っております。
・個人情報保護のため、ご本人様からご連絡いただきますようお願い申し上げます。

『未納料金・裁判・給料、財産の差し押さえ』ときたら詐欺です！不安に思ったらすぐに警察に相談してください。
問　下田警察署　☎27－0110

税務職員募集（国税調査官級）

国税庁は国の財政基盤を支える重要な仕事をしています。
資　格　平成30年４月１日において、大学等（短期大学を除く）を卒業した日または大学院の課程等を修了した日のうち最も古い日から起算して８年を経過した人
申　込　インターネットにより申し込んでください。
期　間　８月３日（金）９時～８月21日（火）
試験日　第１次　９月30日(日)
第２次　11月３日(土)、４日(日)、10日(土)または11日(日)で指定する１日
第３次　12月上旬
問　名古屋国税局　☎052－951－3511

ごみの減量にご協力を

平成30～31年度にエコクリーンセンター東河の大規模改修工事を実施しています。この間、通常２炉での焼却を１炉ずつの交代運転とし、他市町に焼却を依頼しますので、ごみの減量について一層のご協力をお願いします。

【ごみの量実績】

平成29年６月	平成30年６月
308トン	295トン

前年同月と比較して、約13トン減量しています。引き続き、ごみの減量にご協力をお願いいたします。

古着等回収ボックスもご利用ください。

問　町民生活課窓口係　☎34－1932

住宅・土地統計調査にご協力を

10月１日を調査期日として、住宅・土地統計調査が全国一斉に実施されます。
この調査は、住生活に関する重要な調査で、調査活動期間は９月上旬から10月下旬です。調査期間中は統計調査員が調査書類を配布し、聞き取り調査などのために調査区内の世帯を訪問します。調査へはインターネットまたは紙の調査票で回答をしてください。
問　企画調整課　☎34－1924

危険物取扱者試験

試　　験　11月４日（日）
試験種類　甲種・乙種全類・丙種
申請期間
電子申請　8月24日(金)～9月3日(月)
書面申請　8月27日(月)～9月6日(木)
受験場所　下田市他５会場
問　下田消防本部予防課
☎22－1849
http://www.shoubo-shiken.or.jp/

kawa－jin かわづの人

農作業をする吉森さん

野菜の栽培に心を込めて

吉森　太洋 さん
よしもり　たかひろ
梨本　43歳

河津で農業を始め『BRASSICA farm』という名称で活躍している。BRASSICAとはアブラナ属という意味で現在力を入れているプチヴェールを指している。

今回、お話を伺ったのは、筏場の畑で農業をしている吉森太洋さんです。吉森さんは田舎の自然豊かな土地で農業をやりたいと思い、茅ヶ崎で20年勤めていた電気屋を辞め、奥さまとお子さんと一緒に河津に移住して3年目になります。なぜ河津に移住しようと思ったのかと尋ねると「知り合いから知り合いへ繋がり、縁があって河津へと移住することになった」と答えてくれました。吉森さんはさまざまな作物を作っており、その中でも『プチヴェール』に力を入れています。プチヴェールは、ケールと芽キャベツを掛け合わせてできた栄養価の高い野菜です。「プチヴェールはまだまだ認知度が低いため、これから自分が広めていきたい。そして町内で一緒に作ってくれる人が増え、プチヴェールが河津の特産のひとつになっていけたら嬉しい」と力強く意気込みを語ってくれました。

現在、吉森さんの作る野菜は、主に茅ヶ崎や伊東・河津のイタリアンレストランに卸していますが、他にも町内で軽トラ市や河津桜観光交流館で販売するなど、地域に根づいた活動にも積極的に取り組んでいます。

お仕事の合間には、お子さんと一緒に海で磯遊びや釣りをしたり、山で鹿の角を探したり河津の自然を満喫しているそうです。

【取材】磯谷　美佐さん（民間広報協力員）

ちょっとひとこと

いよいよ夏本番ですね。7月の海開きの日に今井浜海岸へ取材に行くと、すでに多くの海水浴客が海で泳いでいました。立っているだけでも暑く、絶好の海日和で私も海に入りたくなりました。

8月といえば、夏休み・花火大会・海・お祭りなどたくさんのイベントがあります。

カメラにも少しずつ慣れてきたこの夏、花火の写真にチャレンジしてみようかな。上手く撮れるといいな。

みなさん思い出に残る夏休みを過ごしてください。（S）

姉妹都市 長野県白馬村通信

平成30年度　大北地区
消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会

大北地区消防ポンプ操法大会

「大北地区消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会」が７月１日、松川村立松川小学校駐車場で開催されました。ポンプ車操法の部・小型ポンプ操法の部・ラッパ吹奏の部それぞれが長期間にわたる訓練の成果を発揮し、大北地域５市町村の消防団がその技を競い合いました。

大会当日は暑い１日でしたが、大北５市町村の選手たちは、仲間や家族からの声援を受け、素晴らしい技術と規律を披露していました。

■発行　河津町役場　〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中 212-2 ☎0558-34-1111　■編集　企画調整課　■印刷 ㈱栄協
■河津町ホームページアドレス http://www.town.kawazu.shizuoka.jp/　■E メール info@town.kawazu.shizuoka.jp